

『ユニセフミャンマー指定募金』

に、ご協力ください！

とやま生協は、ミャンマーを支援する関西・中四国エリアの会員生協と連携して、ユニセフミャンマー指定募金「ミャンマーの女性と子どものための栄養支援プロジェクト」に参加しています。

募金方法 ※募集期間 7/3(月)～7/28(金)

※eフレンズでも注文できます。

【3～6桁番号】注文欄	
注文番号	注文数
375161	1

注文番号

375161

注文数「1」を記入した場合  円の募金に！

※お預かりした募金は、寄付金控除の対象にはなりません。

※募集期間後も、ユニセフミャンマー指定募金を受け付けています。

SDGs (持続可能な開発目標)
目標3のターゲット3-2



すべての国で、生まれて28日以内に命を失う赤ちゃんの数を1000人あたり12人以下まで、5さいまでに命を失う子どもの数を1000人あたり25人以下まで減らし、2030年までに、赤ちゃんやおさない子どもが、予防できる原因で命を失うことがないようにする。

ミャンマー：新生児死亡率 1,000人中 22人
(2019年の数値) 5歳未満児死亡率 1,000人中 45人

「ミャンマーの女性と子どものための栄養支援プログラム」とは？

ミャンマーでは、慢性的な栄養不良に苦しむ子どもの割合が高く、母親である女性たちの乳幼児に対する食習慣についても知識が十分に行き届いていません。また、2021年2月の政治的危機以降は、経済が混乱し、食料価格は上がり、子どもたちの栄養状態は悪化していると考えられます。

このプログラムでは、ミャンマーの栄養状況が良くない地域にいる子どもたちのために、地域の保健ボランティア等への栄養指導の研修や微量栄養素の配布などを引き続き実施します。

※写真は本文との直接の関係はありません。



© UNICEF/UN0631305/Sawunet



© UNICEF Myanmar



© UNICEF Myanmar/2022

2015～2020年度の募金の活動・成果例(2016年7月～2022年6月)

- ★ 7,118人の医療従事者や保健ボランティア等へ“乳幼児の栄養改善”についての研修を実施
- ★ 約54,000人の子どもに微量栄養素パウダーを提供
- ★ 栄養強化治療食で栄養不良に苦しむ子ども1,964人を治療
- ★ 乳幼児の栄養改善カウンセリングを約60,000人のお母さんへ

※2021年2月以降の政治的混乱後もユニセフは活動を継続していますが、事実上軍によって指揮されている現時点の当局とは関わりを持たず、NGOや地域の保健団体等とのパートナーシップを通じて支援活動を行っています。



お問い合わせ先 とやま生協 コールセンター TEL0120-555-192



とやませいぎょう

We Support

